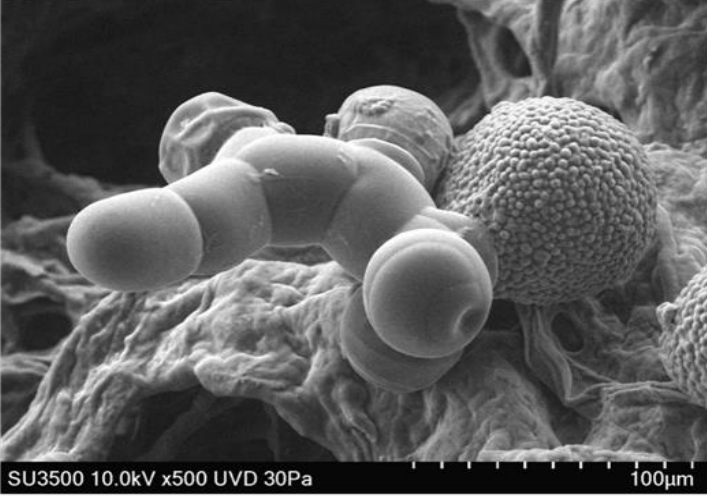


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物生理学会第59回年会（札幌大会）
演題名	Effects of phytohormone on the antheridium and prothalli formation in <i>Ligodium japonicum</i> .
発表者	大石 奈津美[1]※、武田 瑞歩[2]※、星加 名奈美[2]※、 <u>柴田 恭美</u> [2]、 <u>横田 孝雄</u> [2]、 <u>山根 久和</u> [1],[2]、○朝比奈 雅志[1],[2] [1]; 帝京大・院・総合理工、[2]; 帝京大・理工・バイオ 【植物生理学研究室】
内容	カニクサ (<i>Lygodium japonicum</i>) の造精器は、胞子をGA4 メチルエステルによって処理することにより、その原糸体上に誘導される。我々はこれまでに、GA4 メチルエステルによる造精器形成とプロトネマ伸長、および光環境下における前葉体形成が、プロゲステロン類やオーキシシンによって制御される可能性を見出している。学会では、光学顕微鏡を用いて、カニクサの造精器・前葉体形成に対する植物ホルモンの効果について発表した。本研究の一部は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受け行った。
関連画像	 <p>プロトネマのSEM画像</p>